

# ～いのちの素晴らしさ・大切さをみんなに伝えたい～

■12歳の夏に交通事故に遭い、1年4ヶ月後に植物状態から奇跡的に蘇る。

重い障害に負けず現在23歳の平井義博君は、左手(右手が利き手)で書を書くまでに回復した。  
再び走る夢を叶えるために笑顔  
でリハビリに挑戦している。



■彼の書く書は力強く大胆で、見る人に勇気と希望  
を与えてくれる。

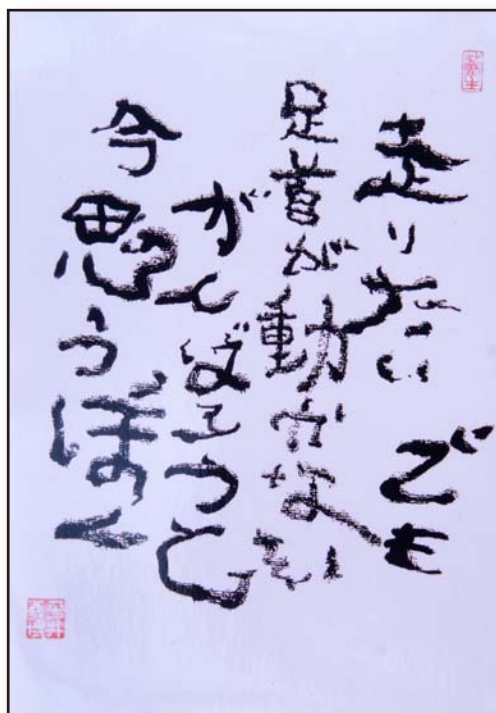
それは、自分の境遇を素直に受け入れ、前向きに生  
きようとする証しであろう。

彼は底抜けに明るい。

■長年の苦しいリハビリに耐え、事故  
から11年目にして初めてプールで歩行  
器を使って自力で数メートル歩くこと  
ができた。

## トークショーのお知らせ

3月16日(土)・17日(日) 14:00～  
「いのちの対話」展 会場にて平井義博君の  
トークショーを行います。  
多数の方のご参加をお待ちしております。



走りたいたいでも  
足首が動かない  
今がんばろうと  
思うぼく

■15歳の時に初  
めて書いた書に、  
父はきっと又走ら  
せると心に誓う。